

令和5年度 幻住庵芭蕉祭少年俳句集

【晴嵐小学校児童 優秀作品】

◇大津市教育長賞

梅雨あけて心の中も快晴だ

◇晴嵐学区青少年育成学区民会議会長賞

コスモスがゆれて会話はずませる

◇幻住庵保勝会長賞

夏祭り小さくなつたワンピース

◇優秀賞

花火師の努力のすべて咲きほこる

高校球児よくれた後ろの背番号

【北大路中学校生徒 優秀作品】

◇大津市長賞

ツアアウト打ち上げて見る雲の峰

◇晴嵐学区青少年育成学区民会議会長賞

日に焼けた肌はほんのりプールのにおいて

◇幻住庵保勝会長賞

駅前前の松尾芭蕉は熱中症

◇優秀賞

朝焼けで夜のかげらが光ってる

夕立や空の表情変わりけり

りんごあめ空にかざせばうつる夏

おやつには自分で削ったかき氷

【晴嵐小学校六年生児童作品】 令和五年度

- 1、 はつもうでねがいかなえにすずつよく 愛甲 嵩斗
- 2、 外出てもやっぱり暑くすぐ帰る 上松 蓮
- 3、 海に行きぼうしをおさえて髪なびく 大貫 莉乃
- 4、 炎天下全力野球必勝だ 岡田 拓朗
- 5、 氷つく川でルーアーでだましあい 岡山 葉

6年	森田	想一朗
6年	西明	和音
6年	村田	渚月
6年	竹村	優菜
6年	川本	賢太郎
3年	西堀	陽翔
1年	村田	仁奈
2年	目片	奏佑
3年	大貫	晴登
2年	岡垣	尚希
2年	徳谷	春
2年	齋藤	逞

6、 おおみそかみんなで年をあげたいな
暗やみで遠くに光る火花かな
7、 高校球児よくれた後ろの背番号
8、 夏休み勉強特化受験生
9、 母の日の気持ちこめた贈りもの

10、	狩りに行く今日の獲物はいちごかな
11、	夏の空雷ひかり虹ひかる
12、	村人より多いのじやないかかかしさん
13、	かがやいたひまわり畑夏の色
14、	外暑い家に帰って涼みたい
15、	梅雨明けの雲のない空爽快だ
16、	家で見える花火大会楽しみだ
17、	まだかなあプール休けい長すぎる
18、	息白しとうとうきたな大寒波
19、	傘持たず夕立が打つ私の背
20、	夏祭りげたの音なり歩く道
21、	夏休み家族と育てる夏野菜
22、	暑い夏ひときわでかいかぶと虫
23、	暑し夜火花まいちる夏の空
24、	夕暮れに小さく灯る手持ち火花
25、	スイカ割りドンとびびいて割れる音
26、	川沿いの夜に輝く蛍たち
27、	夏祭り火花の音が心にひびく
28、	外に出てたくさん聞こえる虫の声
29、	夜の空さいてすぐ散る火花かな
30、	夏の夜光つて消える火花たち
31、	秋終わり赤い洋服ちついていく
32、	梅雨あけて心の中も快晴だ
33、	入道雲色がかわつて大雨だ
34、	梅雨過ぎたしあまだ降るああ雨よ
35、	トマトには日光あたりてかがやくよ
36、	大寒波こたつでゴロねあたたかい
37、	

小川	航明
奥村	苺里
川本	賢太郎
河原崎	亨風
北野	愛佳
栗山	夏月
小島	蒼依
小玉	奈々
坂本	絢音
迫	和希
高橋	快青
武田	航輝
田村	彩桂
筒井	菜々緒
手操	芽依
藤内	あゆ莉
戸田	心
長原	広翔
中町	理乃
野田	佳音
長谷川	天
原田	琉聖
菱田	紗衣
藤木	拓和
前川	俊太郎
前川	梨愛
松本	
佑厘奈	
森田	想一朗
吉田	馨乃
吉田	匠吾
吉田	哩久
円居	葵

38、	夏の夜ほたるの光が流れ星	上川	心花	71、	ひえむぎちやコップに入れた一ぱい目	梅田	大嗣
39、	虫の音夏の宿題せかして	上田	瑛太	72、	大晦日テレビ見ながら夜ふかしだ	大竹野	裕哉
40、	秋の夜小さな虫が大合奏	牛込	有亮	73、	おぼろ月雲にかくれてきりがまう	大谷	芽以
41、	冬になりほたるがいない夜の川	大竹野	晴哉	74、	ふときづくセミのなきごえきえている	大坪	素晴
42、	天の川夜空にひかるあかりかな	大林	咲歩	75、	夏の夜暗闇照らし咲く花火	岡本	朱莉
43、	かき氷心の暑さがふつとんだ	大平	愉海	76、	運動後アイスを食べずすずしいな	奥田	光之助
44、	夏の夜ほたるたくさんゆつたりと	小澤	柊哉	77、	雨すぎて空に二本の虹浮かぶ	柿田	圭史朗
45、	思い出は新幹線のごとき夏休み	加藤	晴崇	78、	朝おきてせみの鳴き声耳すます	金井	咲良
46、	夏休み美浜カップで勝ちに行く	加藤	誠人	79、	雪合戦ランドセルぬれおこられる	川中	竣介
47、	夕立の海に入りこむ黒いかげ	日下部	琴乃	80、	晴天の日せみの鳴き声聞こえるとき	小林	もも
48、	秋の空上を見上げて星一面	熊尾	航	81、	コスモスがゆれて会話をはずませる	西明	和音
49、	うちわ見て友と思いい出し出す	酒井	南帆	82、	家の中こたつに籠り良い気持ち	須佐見	大地
50、	キャンプ場琵琶湖の朝日美しい	櫻井	遙人	83、	大花火だまってみてたきれいだな	角谷	結翔
51、	秋がくる葉の色変わり山びらき	島村	謙吾	84、	夏の夜景をながめ花火待つ	高安	眞央
52、	散るさくら見るのはなぜにさびしいの	杉本	優愛	85、	夏の海光りかがやくこのみちよ	竹山	優志
53、	家出ると雪がふりしき白い世界	須佐見	壮生	86、	夏の日に空に流れる星の川	田中	健登
54、	花火見る始まる瞬間静まる声	谷口	奈々子	87、	みみすます花火の音がきこえだす	坪井	柚月
55、	友だちと祭りのしむ夏の夜	中川	結愛	88、	ともだちと夏のお祭り楽しいな	永岩	愛琉
56、	たんざくに書いた願いはかなうかな	西井	碧海	89、	夏休みクーラーつけてひと休み	西澤	玲愛
57、	家帰りクーラーのもとかけつける	西堀	泰司	90、	花火消え再び空に光灯る	西村	心菜
58、	もうすぐでミンミンせみがなりひびく	二ノ宮	香子	91、	朝顔達朝の姿は晴れ晴れと	西村	崇
59、	雨上がる日にてらされる虹できるか	野間	璃碧	92、	夏の空月を見ながらラムネ飲む	林	穂希香
60、	卒業式わかれのなみだかくしけり	林	咲良	93、	百メートルベスト目指してスタートだ	藤川	拓巳
61、	もぐりこむ潮水あびてしよっぱ顔	早田	佳央	94、	水かすシロップかけてぼくだけの	藤木	晴
62、	夏休み友といっしょに遊び行く	久田	琉生	95、	帰り道小道にたたくむまんじゅしゃげ	藤田	凜子
63、	庭にきたせみが私を呼んでる	藤野	莉衣	96、	亡き祖父を思い見つめたキンセンカ	藤田	凜子
64、	雪どけのあたたかい春花粉とぶ	本多	芽衣耶	97、	クリスマス準備している子供たち	振角	美帆
65、	海に行き中にもぐって魚見る	松本	千歩梨	98、	夏川で一生動かぬゴリ流す	宮本	拓実
66、	花火の日最後のががやき朝のよう	安田	真慧	99、	夏休み宿題できず最終日	矢澤	滯
67、	夏の夜川の周りをほたるまう	山田	菜緒	100、	もくもくと夏を感じる入道雲	柳谷	輝
68、	遠花火祖父の家を思い出す	吉岡	茉莉			山中	桜空
69、	夏の夜家族とほたるの見に行こう	吉田	心澄				
70、	朝顔の水やりわすれかれかかる	石田	愛蘭				

101、 日がのぼるどんどんとけてくかき氷
 102、 帰宅すぐ冷えたアイスへとっしんだ
 103、 地元校の高校野球顔のりだす
 104、 夏の夜空空見上げきれいだな
 105、 セミの声負けずにぼくら練習だ
 106、 夏休みセミやカエルや音楽会
 107、 夏休み宿題多くて絶句する
 108、 まどのそばなかなかやまぬ梅雨の空
 109、 暑い夏大会にむけ汗ながす
 110、 春にかけどんどんとける冬の雪
 111、 夏の夜家のねどこは暑すぎる
 112、 色が落ちかれ葉が落ちた秋終わり
 113、 雨上り大きな虹でおさんぽだ
 114、 夏休みいつも聞こえる虫の声
 115、 冬の夜星空見えずさんねんだ
 116、 暑し夏楽しい休みすぐ消える
 117、 あつい朝もうさいちやったコスモスや
 118、 花火師の努力のすべて咲きほこる
 119、 夏の夜夜中に虫が鳴いている
 120、 夏休み宿題残りあと二日
 121、 初夏の夜月で光る大海原
 122、 なぜだろう暑すぎる夏すぐ消える
 123、 クリスマス街に笑顔が咲きほこる
 124、 夏休み思い出いっぱい作ろうな
 125、 花火みて家族みんなで耳すます
 126、 クリスマス後すぐ来るぼくの誕生日
 127、 あじさいよまた花さかすのいつなのか
 128、 チューリップ赤と黄色とさきほこる
 129、 思い出がつまった家族とお別れだ
 130、 梅雨の日にかさをつかったとびたいな
 131、 夏休み遊んでいるが宿題が
 132、 運動会仲間とともに助け合う
 133、 生活がくるっと回転夏休み
 134、 夏祭り小さくなったワンピース
 135、 朝顔が朝日をあびて花ひらく
 136、 クリスマス夜中にひびくすずの音

山本 悠生
 横井 友哉
 脇野 樹
 岩見 拓都
 上田 翔太
 上村 虹大
 大西 菜凜
 大貫 瑚乃
 奥田 雄貴
 神原 圭汰
 北坂 野々美
 木津 玲哉
 日下 汐莉
 阪口 友梨
 佐野 太軌
 杉山 和博
 曾根 名央
 竹村 優菜
 玉木 亜聡
 角井 直仁
 寺本 悠陽
 寺本 悠陽
 豊岡 結音
 中田 秋音
 中山 さい
 西村 陽希
 野村 陽希
 長谷 春花
 服部 夕輝
 福島 弓月
 藤井 いまり
 外薮 一真
 宮川 千輝
 村田 渚月
 柳澤 柚姫
 山上 遥斗

137、 母の日につたえぬ感謝さらけだす
 138、 空見上げ雲せまりくる夕立だ
 139、 まい上がる打ち上げ花火さきほこる
 140、 草のやみほたるの光また一つ
 141、 海水浴わかめといっしょにぶーかぶか
 142、 秋の風もみじがおどる秋の空

太田 真愛
 桧山 あかり
 杉山 菜々子
 中森 笑菜
 長谷 こうき
 坂辻 杏莉



【北大路中学校生徒作品】 令和五年度

【二年】

- 1 ・ミンミンと蝉が鳴く中歩く道
- 2 ・にじいろのあまくとけだすなつごおり
- 3 ・近江牛琵琶湖ふな寿司大なまず
- 4 ・長い旅つかれきつた自分の足
- 5 ・せみの声みんみんひびく帰り道
- 6 ・夕涼や公園さびし一人きり
- 7 ・夏休みおわったよつらすぎる
- 8 ・夏休みやることなくて溝そうじ
- 9 ・画面越しカバの水浴びすずしげな
- 10 ・セミの声目覚まし無しでも起きれるよ
- 11 ・夏の夜何か聞こえるミンミンと
- 12 ・三カ月奥の細道旅癒し
- 13 ・森林の色鮮やかな草花よ
- 14 ・交差点声をかけ合い事故なくせ
- 15 ・夜空には光かがやく火花あり
- 16 ・夜空によく響きわたるせみの声
- 17 ・夏休み楽しかった旅行
- 18 ・幻住庵涼風におどる木と光
- 19 ・船幸祭打ち上げられた大輪花
- 20 ・夏休み暑さで溶けるかき氷
- 21 ・それぞれが空で輝き火花散る
- 22 ・楽しいなやつときたか夏休み
- 23 ・夏の夜瞬き厳禁スターマイン
- 24 ・風吹けばひらひらひらり風鈴や
- 25 ・太陽の真下で走る陸上部
- 26 ・空を見た火花がドンドン鳴っている
- 27 ・ゴミ分けて故郷守るみんなの和
- 28 ・友達と花火大会楽しいな
- 29 ・夜の空どーんとあがる火花たち
- 30 ・夏休み遊びまくってひやけた
- 31 ・蝶の帯悪戦苦闘初浴衣

野中	豊原	武内	鈴木	島本	小茂田	北川	宇野	生駒	荒川	吉岡	村上	三井	増田	古川	弘田	原田	羽織屋	長友	田鍋	竹内	高原	佐々木	片山	甲斐	甲斐	越智	大塚	飯塚	浅居		
葵	莉乃	心花	葵依	優弥	実愛	なは葉	朝陽	慶志	楓香	隼翔	涼	理央	寧々	翔太	大和	伸孝	冬華	優月	玲果	琉真	芽衣	大和	濤	宗祐	花音	圭大	碧	花梨	彩羽		
6	6	6	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3		
・夕立ちや空の表情変わりけり	・ヘルプマイそれでも僕は夏が好き	・月日は行きかふ年も又旅人也	・今昔に想いをはせる幻住庵	・この夏はエアコンなしじゃ生きられん	・極暑越え砂丘から見ると日本海	・夏休み宿題多い終わらん	・歴史ある奥の細道旅癒す	・ジリジリと鳴く蝉の声耳痛い	・新緑自然たくさんいやしあり	・夏休み暑くて汗だく部活動	・家の窓打ち上げ火花ながめてる	・汗ひかず冷えたトマトを張る子	・夕暮れに真っ赤にそまる空の向こう	・憧れの先輩達と進む夏	・扇風機にらめっこして涼む僕	・かき氷夏を感じるおいしいな	・夏休み何を四天王？最終日	・友だちと一緒にまわる夏祭り	・虫の声秋のにおいと運ばれる	・風鈴やちりんちりんゆれてる	・夏の夜琵琶湖に浮かぶ大火花	・夏休み毎日しよう早起きを	・夏祭り花火の音が響いてる	・熱中症心がけ過ぎて風引いた	・夏の海光輝く波の色	・花火散り夜に輝く瀬田川に	・夜空咲く打ち上げ花火近江花	・夏祭りゆかたイカ焼きイチゴあめ	・日に焼けた肌はほんのりプールのにおい	・お祭りでお金がなくなり大ピンチ	・夏が来た木から聞こえる蝉の声
岡垣	上田	岩城	井上	稲場	山口	山口	森	松山	松井	本郷	福家	長谷川	中西	藤堂	田中	田崎	田崎	國松	草野	井ノ原	井上	秋森	青山	中島	渡辺	山下	山口	村田	藤田	樋口	
尚希	圭悟	佑介	碧來	史泰	ゆきの	心乃	結花	獅駕	珀愛	悠	茉紘	翼	悠斗	正輝	優成	青蓮	健介	百々花	柚奈	愛彩	琉伊	翔	雪鈴	華果	伶奈	正慶	芽唯	姫菜	仁奈	莉花	

64 夏休み甲子園みてドキドキだ

北村 紗悠

- 64 水面に輝く十色花火かな
- 65 帰り道遠くに光る花火かな
- 66 暑いから家から一步も出たくない
- 67 あつすぎる毎年夏はあつすぎる
- 68 勉強中間こえてくるよ蝉時雨
- 69 暑いで中ポール追いかけて走る僕
- 70 青褐の夜空に映える揚花花
- 71 国分山階段上れば幻住庵
- 72 夏の夕オレンジ色に染まる空
- 73 夏の試合猛暑の中でも集中だ
- 74 光る夜花火が空に咲いている
- 75 花火と星僕にきれいな魅せつける
- 76 夜の空いくつ崩れて光の山
- 77 夏祭り光が目立つ暗い夜
- 78 なつやすみ旅行に行っても楽しいね
- 79 なつやすみプールの楽しい旅行ありがとう
- 80 なつやすみプールであそんで楽しいな
- 81 夏の朝暑さに負けぬせみの声
- 82 風鈴の音色恋しき三十七度
- 83 墓参りキヤラメル供える子供達
- 84 夏休みプールに入って楽しいな
- 85 せんぷうき冷たい風がとおってくる
- 86 友達と三時間待ち花火
- 87 秋近し終わらぬ課題絶望感
- 88 夏休みセミの死がいにもわめく友
- 89 松尾芭蕉歴史香る幻住庵
- 90 夏祭り友達と会うこれもよき
- 91 セミの声激しい中で勉強だ
- 92 声援が戻って響く甲子園
- 93 友達とクワガタ探す夕やけの空
- 94 夏の朝虫の鳴き声目がさめる
- 95 見渡せば自然豊かな幻住庵

【二年】

中川	直一	竹内	将野	小島	木下	北田	河原	河井	奥迫	大塚	上田	今里	稲葉	石川	後藤	松本	岡	山口	八幡	松田	増田	堀	平井	服部	長原	中川	谷口	高山	高橋	小林	木下
朋香	陸	慶	純輝	萌愛	優輝	綾音	悠成	煌我	拓己	陽愛	遥希	あまね	仙乃助	奏	佳夢	笑梨	瑠菜	楓恋	航	仁心	悠真	美虹	慶大	楓	杏悟	美優	宗大	櫻生	美玲	空	
127	126	125	124	123	122	121	120	119	118	117	116	115	114	113	112	111	110	109	108	107	106	105	104	103	102	101	100	99	98	97	
・夏祭りおいしかったりんご飴	・森の中囲まれた家草庵だ	・夏休み追熟するよ甲子園	・幻住庵芭蕉が好む琵琶の湖	・海の月花火が映り夏景色	・暑き日にアイスを食べば最高だ	・まつくらな空見て笑う花火かな	・夏季総体汗と涙の一試合	・汗にじむ今日も白熱甲子園	・夏の風風鈴聞けば涼しきかな	・石山夜市泥酔おっさんうるせえよ	・グラウンド掛け声響く夏の空	・暑き夏今しかないこの時は	・炎天下シュートを決めてハイタッチ	・おやつには自分で削ったかき氷	・夏暑いでも部屋涼しい最高だ	・ドンドンパッ琵琶湖の花火大閃光	・忘れない先輩がいる安心さ	・目覚ましは夏を知らせるセミたちだ	・キラキラと夜空にひかる花火かな	・夏の雲アイスクリームと溶けていく	・宿題を終えて外からせみの声	・暑い夏負けないぐらい暑い夏	・球児たち頂点目指して流す汗	・夏休み友達と行く夏祭り	・夏休み部活はとてもつかれるな	・暑い夏「今年は特に」毎年やん	・夏のせみむなしく鳴いて儂き死	・夏の夜湖面に垂れる冠菊	・夏休み昼はサツカー夜祭り	・夏休み部活と勉強両立だ	
今田	和泉	高田	横道	山中	村雲	南村	本多	平田	馬場	伊達	只野	清水	四宮	齋藤	鯉迫	北村	加藤	梶原	柏木	尾崎	岡本	宇仁	池田	三浦	藤澤	日比野	萩原	西村	鍋島	中河	
篤仁	夢姫	功規	春花	梨乃	俊介	巧	由梨弥	大輔	一真	光絆	健琉	真希	光之助	逞	蒼多	啓太	涼菜	真帆	七葵	真優	理莉子	くるみ	健人	一哲	拓磨	楓加	真鷹	穂乃花	彩汰	希愛	

128・炎天下汗びつしよりの午前中

大竹野 旬助

- 129・風鈴がリンリンリン涼しいな
- 130・ホームラン快音響く甲子園
- 131・夏休み友と一緒に魚釣り
- 132・夏休み楽しかった部活動
- 133・かき氷甘くてひんやりおいしいな
- 134・夏休み予定たくさんいそがしい
- 135・暑い夏そこでバテるなまだまだだ
- 136・思い出の友と楽しむ夏祭り
- 137・地球は緑があふれきれいだな
- 138・りんごあめ空にかざせばうつる夏
- 139・大好きな育った場所守りたい
- 140・夏休み青春の日々花咲かそう
- 141・夏休みプールに行き日焼けした
- 142・夏休み部活とゲーム楽しいな
- 143・家族はねかけがえのない団欒
- 144・大切な伝統引き継ぐ全員で
- 145・夏の朝せみの鳴き声こち良い
- 146・夏祭り友達と食べるかき氷
- 147・猛暑の日アイスも自分もとけそうだ
- 148・茶白山夜に賑わう花火大会
- 149・最後の日あせって取り組む大量課題
- 150・夏休み思い出たくさん作れたね
- 151・夏休みセミがミンミンなっている
- 152・美しき夜空を彩る大花火
- 153・炎天下待ちに待ったシキ801
- 154・夏終わり無音の花火さびしいな
- 155・甲子園脱まる坊主新野球
- 156・夏祭り屋台回って食べまくる
- 157・暑い夏ミンミン鳴いてるセミの声

岡田 麻央
岡本 航
金澤 聡太
久野 颯悟
小池 優菜
坂辻 映斗
清水 翔太
武田 一慶
寺田 源
徳谷 春
永喜 望愛
初田 怜
原田 夏弥
藤田 遼大
前原 智宙
三原 量子
目片 結愛
吉岡 優希
吉田 花奏
赤堀 世波
井田 瑞希
井本 心結
大橋 海士
岡田 圭祐
奥迫 琉我
加藤 杏菜
木村 駿斗
黒田 穂々佳
川井 梨央奈

- 158・夏休み久しぶりに見た大花火
- 159・琵琶湖花火音だけ聞こえて悲しいな
- 160・夏休み耳をすませばせみの声
- 161・風に揺れるすずしやかな鈴の音
- 162・夏の朝憧れ目指す陸上部
- 163・雨上がり友達と見るきれいな虹
- 164・夏の夜いっしょに行こう夏祭り
- 165・花火果て夏の夜空は悲しかな
- 166・暑い夏インフルかかりねこんでる
- 167・夏の夜空に映える色向日葵だ
- 168・ゆかた着て花火大会青春だ
- 169・駅前の松尾芭蕉は熱中症
- 170・夏休み家族旅行でリラックス
- 171・夏休み海に行ったらスイカ割り
- 172・道のセミセミファイナル動き出す
- 173・夏の夜蛍が飛び交い癒される
- 174・雲高き空突き抜ける蝉時雨
- 175・暑い風涼しくさせる風鈴の音
- 176・夏休み家族で旅行楽しいな
- 177・なつやすみおじいちゃんちにいきました
- 178・親せきにたくさんもらったお年玉
- 179・花火咲く夏の夜空は宝石箱

【三年】

高島 ころろ
伊達 天絆
田中 乙葉
寺山 陸斗
中道 勝太
夏見 怜奈
平井 陸翔
藤崎 瑛大
堀江 宇宙
松田 芽吹
美濃部 明梨
目片 奏佑
矢野 匠真
山藤 美音
吉田 輝一
浅川 瞬生
阿部 珠貴
飯原 輝明
辻 真鈴
尾崎 英土
片山 楓
金山 琉奈
川上 龍仁
木下 美空
古高 雛
澤田 莉緒
杉原 皓介
高杉 一花
谷口 堅信
中上 隼翔

188・ツアウト打ち上げて見る雲の峰	西堀	陽翔	219・暑い夏今日もどこかでセミが鳴く	藤田	泰聖
189・風を待つただ花が降る春吹雪	西村	遙	220・旅行けば遭げば遭ぐほどリフレッシュ	松原	新
190・花火見てもうすぐ終わるとあわてる日	野中	葉明	221・涼しげなちりんちりと夏の音	松本	陽路人
191・風鈴や鳴れば涼しい風の声	萩原	満桜	222・暑き日よ一寸だけでも冬になれ	守屋	希一
192・いそぎ降る雨明日は出梅	松田	隼	223・夏の朝暑くて起きる午前九時	山上	凜星
193・雷鳴とサーブスエース重なる夜	三浦	結	224・窓見れば夏の日差し降り注ぐ	安食	桜子
194・雨の音セミの鳴く音起こされる	道添	悠吾	225・真つ白に輝く雲は泉の中	池田	涼音
195・遊べない受験に備える夏休み	森田	仁	226・夜の空花火大会青と夏	和泉	星凱
196・暗闇を黄金に染める花火かな	山田	紗愛	227・紫陽花が小雨にぬれて夏が来た	大西	澄伶
197・ダイエツト三日坊主でリバウンド	山本	脩生	228・ミーンミン夏を知らせるセミの声	久米	椋太
198・瀬田川のほとりで輝くラムネ瓶	辰巳	琴音	229・異常気象セミも鳴けないこの暑さ	小谷	優斗
199・夏休みすぐにおわって学校だ	青山	稟空	230・クーラー下机ならべ講習	小森	百華
200・一週間いつでもいいから休もうね	安食	薫子	231・なつの虫日かげ日なたと飛びまわる	佐脇	瑠南
201・暑かはし夏の知らせの蝉時雨	伊藤	有咲	232・波の音浜辺で探すガラス玉	杉浦	茉那
202・紅葉にそまれば冬の香り立つ	枝	龍之介	233・雨上がり水面にうつる夏の空	大道	凜
203・突然の夕立がくれた一本の虹	岡	航汰朗	234・かき氷僅か一口幸福感	高瀬	煌界
204・夏休み課題追われる最終日	小川	陸太	235・あつけなく暗闇映えて散る火花	武内	夢果
205・夢崩れ紅蓮の思い未だ絶えぬ	奥野	菜都	236・りんりと耳をくすぐる風鈴の音	竹本	奈津紀
206・涼しいな揺れる風鈴チリンチリン	草野	翔太	237・夏空の下仲間とながした汗と涙	長澤	葉月
207・陽炎とせみの声に包まれる	雑賀	夢乃	238・たいくつでしょうもなかった夏休み	中村	優斗
208・アジサイの華がしぼんでヒマワリが	佐藤	愛莉	239・地元から光る花火は四年越し	西村	兼
209・青い空涼しい風吹く青い夏	曽根	悠大	240・子の歓喜朝日が照らす銀世界	根角	虎寿
210・満開で夜空を彩る夏花火	辻本	彩乃	241・受験生地獄のような夏休み	初田	結音
211・透き通る氷溶けゆく熱帯夜	坪田	未夢	242・琵琶の湖涼しげになく水の声	濱野	うた
212・目映く夜空に散りゆく夏の華	寺西	萌衣	243・夏の風吹かれてみたいが外は暑い	林	蒼空
213・菜の花にドアがぼつんと悪目立ち	内藤	李実	244・暑い昼窓をあければ夏の声	宮本	閃多
214・ペットボトル水のうろこに夏の昼	中瀬	太一	245・延々と宿題宿題処暑の夜	六車	陸人
215・梅雨の空のど透き通る氷菓子	西川	梨紗子	246・再スタート新しいステージ琵琶湖の上	山根	美音
216・花火音幸せ欠片空に舞う	橋口	風花	247・雨と言ふ愛を受けた一輪の花	吉田	悠惟
217・せみの声あつさひきたてる源	橋倉	圭人	248・隙間風風鈴の音響かせる	鷺田	将徳
218・子の刻に涼しく吹いた夏の風	藤井	瑠千	249・夏の日に空見上げて花火見る	秋森	隼河

250・素麺は最初はおいしいすぐ飽きる
 251・夏の日には日傘をさして涼しいな
 252・入り流れるこぼれ桜や川の上
 253・セミの声ますます近づく夏の音
 254・夏祭り人混み揉まれもうくたくた
 255・夏休みセミの声で目が覚める
 256・汗流しご先祖さまにごあいさつ
 257・夏風や鳴く虫の声ハーモニ
 258・染まるるはいと深き赤紅葉かな
 259・秋になり少しつめたい風が吹く
 260・暑い夜エアコンつけると雪の国
 261・暑すぎて水より先に冷蔵庫
 262・風鈴と残る暑さにさよならを
 263・夏休み季節感じるセミの声
 264・暑くても向日葵たちは笑ってる
 265・今日もまた靴下焼けにこんにちは
 266・桜散る春の終わりを上げるとき
 267・冬の夜に世界を照らす月明かり
 268・ミンミンゼミ元気に鳴くと一安心
 269・登下校木から聞こえる蝉の声
 270・花粉症春の季節は厳しいな
 271・夏を告げる4月の終わる散る桜
 272・暑い日は冷えた麦茶が身に染みる
 273・夏の夜涼しく切ない風鈴の音
 274・秋の山もみじ広がる紅葉かな
 275・撮り鉄や駅員警察鬼ごっこ
 276・夏休みスイカも食べる楽しみだ
 277・夏休みゲームばかりでおこられる
 278・夏の夜ほたるのひかりきれいだな
 279・友達と花火見ながら屋台飯
 280・夏の夜夜空に打ち上がる無数の花火

井垣 陽
 石嶋 向日葵
 石橋 悠太
 井上 慎太郎
 柏山 侑宇我
 川名 陽輝
 妹尾 みらの
 田頭 翔太
 竹内 真優
 田中 杏樹
 田中 裡子
 谷井 駿
 藤堂 妃那
 徳田 輝人
 中井 莉香
 西澤 美優
 原田 千妃
 外薮 由菜
 松井 心那
 三田村 悠生
 宮島 大空
 村山 礼
 山下 鳳舞
 吉田 莉愛
 若松 幸征
 後藤 京太
 目片 琢磨
 井深 弘将
 阿部 姫花
 植田 乃愛

281・あいさつもぼくらができる地球貢献
 282・朝焼けで夜のかげらが光っている
 283・屋台の匂い食欲そそる夏祭り
 284・近江の地湖上の風にいやされて
 285・人々を包みいやして水の音
 286・たのしいなセミがうるさい夏休み
 287・夏休みあつという間におわりだね
 288・雨上り上を見れば虹の橋
 梅原 大剛
 大貫 晴登
 片木 絢香
 船富 遥斗
 寺井 さつき
 仁張 陽斗
 中西 康介
 上阪 彩葉
 【一年】
 合計428人



【選者感想】

（現代俳句協会 増田 天志）

（日本伝統俳句協会 尾崎 恵子）

（大津市俳句連盟 宮崎 正子）

（幻住庵翠微句会 小菅 信一）

（幻住庵保勝会 馬場 民代）